

上尾市・桶川市・伊奈町 合併協議準備会終了

合併方式 合意に至らず

上尾市、桶川市、伊奈町では、法定合併協議会を立ち上げる前段として2市1町による合併協議について基本的事項を協議・調整する「上尾市・桶川市・伊奈町合併協議準備会」を町長、助役、正副議長、議会の合併推進協議会会長等が委員となり平成16年4月22日に発足させ第1回準備会を開催し協議調整してまいりました。

しかし、去る5月29日の第3回上尾市、桶川市、伊奈町合併協議準備会において、5月22日に行った第2回準備会で合意が図れなかった「合併の方式」「新市名」「市役所の位置」等を持ち帰り再検討することとなっていました。が、「合併の方式」で合意が得られず解散となりました。

「合併の方式」は上尾市が「編入合併」を希望したのに対し桶川市が「新設合併」を、伊奈町は「基本的には新設合併を希望する。しかしながら、各市町とも歴史的な背景もあることから、町民の理解が得られるならば『対等な精神』の理念に基づいた編入合併も一考に値する。」と回答しました。

企画調整課

政策企画担当 ②2261

町民の皆様へ

伊奈町長 野川和好

町では、平成15年7月に市町村合併を考えるアンケートを実施して以来、合併問題に関しましては、慎重に熟慮を重ね取り組んでまいりました。

しかしながら、このたびの上尾・桶川・伊奈の2市1町による合併協議準備会におきましては、伊奈町として主張すべきところは主張し、また、2市の立場も尊重して合意に向けて誠実に努力を重ねてまいりましたが、残念ながら合意に至らず準備会は解散となりました。2市1町の

合併問題は、白紙の状態となったわけではありますが、私は、今日の日常生活圏の拡大や地方分権、また行財政の効率化・スリム化の効果等を考えますと、合併問題は引き続き町の重要課題であると認識をいたしております。今後につきましては、議会の意向や住民の皆様の意見を十分伺いながら、町の将来の発展と住民福祉の向上に結びつくことを第一に、対応してまいりたいと考えております。合併問題は、何よりも住民の理解と納得が不可欠でありますので、合併に関する情報は具体的に分かりやすくお知らせしてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

これまでの経緯

- | | | |
|-------|-----|---|
| 平成15年 | 7月 | 市町村合併を考えるアンケート調査を実施
・18歳以上の3,500人に実施 |
| | 8月 | 桶川市から合併協議の申し入れについての依頼文を受受 |
| | 9月 | 合併に関する事務的協議の協議書を上尾市長に送達 |
| | 10月 | 広報いな10月号にアンケート結果を掲載
・回答率51.3%
・合併特例法の法定期限内(H17.3.31)を希望する方62.7%
・合併の枠組みとして上尾市を希望する方30.9%
上尾市と桶川市を希望する方25.0% |
| 平成16年 | 2月 | 伊奈町から桶川市および桶川市議会へ合併協議の申し入れについての回答文を送達 |
| | 3月 | 伊奈町議会から桶川市および桶川市議会へ合併協議の申し入れについての回答文を送達
桶川市および桶川市議会から合併協議準備会の設置についての回答文を受受
合併問題意見交換会を開催 |
| | 4月 | 伊奈町から上尾市へ早期の合併協議準備会設置の申し入れについての要望書を送達
上尾市、桶川市、伊奈町2市1町トップ会談を開催
第1回上尾市、桶川市、伊奈町合併協議準備会を開催 |
| | 5月 | 第2回上尾市、桶川市、伊奈町合併協議準備会を開催
第3回上尾市、桶川市、伊奈町合併協議準備会を開催 |

6月定例議会

平成16年6月定例議会は、6月8日に開会し、正・副議長選挙が行われ、議長に鈴木明氏、副議長に永沼時子氏が就任しました。

本会は、町長提出議案9件を原案どおり可決、請願1件を採択し、6月22日閉会しました。

主な町長提出議案

●伊奈町印鑑条例の一部を改正する条例Ⅱ印鑑登録申請時の本人確認をより厳正に行うため、規定を改めるものです。

●伊奈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例Ⅱ地方税法の改正により、土地・建

物の長期譲渡所得に係る100万円の特別控除を平成17年度分から廃止するものです。

●伊奈町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例Ⅱ消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の施行令の改正により、退職報償金の額を一律2,000円引き上げるものです。

●業務委託契約の締結についてⅡ県施行の土地区画整理事業地区における公共下水道事業に係る平成16年度業務委託契約58,000千円を埼玉県と締結するものです。

●町道路線の認定についてⅡ大針字細田山338番31地先から大針字中田1638番13地先までを新たに町道として

認定するものです。

●監査委員の選任についてⅡ議会議員選出の監査委員に平田義雄氏選任する案を提出し同意されました。

●助役の選任についてⅡ松井雅雄助役の退任に伴い、新しく助役に細田藤夫氏を選任する案を提出し、同意されました。

鈴木明議長



鈴木明氏（62歳）は町議当選4回、副議長、企画総務常任委員会委員長などを歴任されています。

永沼時子副議長



永沼時子氏（59歳）は町議当選3回、建設産業常任委員会委員長、企画総務常任委員会副委員長などを歴任されています。

にじいろぱれっと 第2集

— 命 —



命はとても大切だ
人間が生きるための電池みたいだ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけど
命はそう簡単にはとりかえられない
何年も何年も月日がたってやっと
神様から与えられるものだ
命がないと人間は生きられない
でも「命なんかいらない。」
と言って
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから私は命が疲れたと言うまで
せいっぱい生きよう

この詩の作者、宮越由貴奈さんは5歳のとき、神経芽細胞種と診断され11歳で亡くなりました。

後日、お母さんのいわれるには、院内学級で受けた理科授業「乾電池の実験」の直後に作られたということです。

かけがえのない命…。命の尊さ、大切さについて家族みんなで、話し合ってみましょう。

人権教育啓発資料

埼玉県民芸術文化祭2004 第54回県展入選者

5月12日から6月3日まで、県立近代美術館で開催された第54回埼玉県美術展覧会（出品総数4,876点）で、町から次の方が入選されました。

〈敬称略〉

洋画の部（1,790点出品）
鈴木國男（北本） 夏の日に
逸見次郎（大針） 浅春武甲
真玉光郎（大針） 箱男「あの日」の丸の柄は、ぼくの耳に突き刺ったかもしれない」
工芸の部（475点出品）
大野秀雄（南本） 青瓷片衝壺
岡村榮一（丸山） 灰釉拔文鉢
田中義夫（羽貫） タモ拭漆盛器
書の部（759点出品）
坂井 薫（小針内宿） 青草
中村沙香（羽貫） 良寛詩
山田螢抱（羽貫） 二字句（老子）
写真の部（1,429点出品）
内村和彦（下郷） 冬沼の華
小島文夫（丸山） 帰りの刻
高玉道子（大針） 雨の日の午後
小島 豊（栄南） いつもの朝
下田 昇（小貝戸） たわむれ
前田 稔（綾瀬東） 追憶
峰岸征治（小貝戸） 川霧幻想